



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 Rotary: Making a Difference

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2017年8月23日 第2302回例会 VOL. 49 No. 7

- 司 会 副SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 会長 滝澤 亮
- 斉 唱 それでこそロータリー
- 出席報告

会員数	31名	本日の出席数	24名
本日の出席率	88.89%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

青木、本山、二宮（麻）

■他クラブ出席者

五十嵐（横浜西RC）、佐藤（真）（地区）

■ゲスト

鈴木香緒里様

沈 佳穎様（米山奨学生）

■皆出席者表彰



関口 友宏会員 43年
大川 伸一会員 1年

二宮麻理子会員 4年
田川 富男会員 5年

■会長報告

皆様いかがお過ごしでしたか。お盆のシーズンはあいにくの雨模様でしたが、しつとりと落ち着いた時を過ごせました。先日の土曜日には、夜突然の雷雨に驚かされました。私はちょうど病院帰りで豪雨・落雷のなかを家まで恐る恐る家まで運転して帰りました。16号の川井のあたりではいつ部浸水し始めておりました。いつこのようなことがまた起こるかもしれないので皆様注意してお過ごしください。今週に入り少し太陽も増えてきましたので日照時間も回復してくれるといいなと思います。

○地区関係

- 1) 9月14日の開かれる地区ロータリー財団セミナーのお知らせ。
- 2) ロータリー青少年交換2016-17年度派遣学生帰国報告、並びに2017-18年度来日学生歓迎会開催の件。
- 3) 地区の国際奉仕委員会からホームページ開設の案内及び活動事例を載せてほしいとの協力依頼が来ております。

■幹事報告

○来週の例会について

8/30(水)の例会は仕立屋にての移動例会とな

ります。時間は午後6時からです。個人負担として2,000円お願い致します。併せまして宋さん、目黒さんの歓迎会をいたしますので参加を宜しくお願い致します。

■地区大会記念行事

チャリティーディナーショーへのお誘い

* 当旭クラブから財団奨学生としてウイーンに留学された朝倉春菜さんが出演致します。

■親睦委員会

後藤 英則

○ブルーベリー摘みの報告

8月11日(金)の祝日、二宮会員のブルーベリー畑で マチアス・M・チカウェタンザニア駐日大使とご家族、大使館職員の皆さん、旭ロータリーの青木会員、兵藤会員ご夫妻の皆さんが参加してブルーベリー摘みを楽しみました。

当日は霧雨が少し降っていましたが、大使館の皆さんは、二宮会員宅で用意して下さったレインコートを着てブルーベリー摘みを楽しみました。甘く熟した摘み立てのブルーベリーを口に入れおいしいを連発、大使はタンザニアにはブルーベリーの木がないので、大

変珍しく美味しい果物だとおっしゃってました。ブルーベリー摘みが終わり、二宮会員宅の50畳は有ろうかと言う居間に集合し、二宮会員が用意して下さった美味しいサンドイッチと飲み物で昼食、ゆっくりと流れる時間の中、親睦を深めました。

10月には、二年に一度開催される駐日アフリカ諸国の大使夫人が主催するアフリカ祭りが開催されるので詳細は後日ご案内しますが、ロータリーの皆さんも是非参加してくださいと、秘書の方よりお誘いがありました。



■雑誌委員会

増田嘉一郎

「ロータリーの友8月号」誌紹介

1) 横組み

① 8頁からは8月は会員増強月間ですので、最初の特集は「これまでの殻を破る」として、会員増強・新クラブ結成を取り上げています。大宮西RCの「三本の矢でロータリーの魅力をPR」という記事がでています。三本の矢というのは親睦と奉仕に、事業の利益拡大を三本の矢としています。私は会員になることを事

業の利益増大とビジネスと捉えることには疑問をもっています。勿論、必要に応じ会員間の取引が行われることは理解できますが、積極的に会員が事業利益の増大を求めて取引活動を会員間で展開することは、親睦に反する結果を招致しかねないと思っています。

② 13 頁に会員数とクラブ数の推移のグラフがでています。クラブ数は減少傾向ですが、会員数は横ばいであり、生き延びるクラブは、会員を増強しているということだろうと思います。

③ 24 頁からアトランタ国際大会の報告が記載されています。

2) 縦組み

① 9 頁からの「クラブを訪ねて」はベ이스ターズのラミネス監督が所属する高崎 RC です。3 年前に会員が 51 名増え、現在会員は 118 名で、県都の前橋 RC を抜いたそうです。会員増強の秘訣は「例会を面白くすること」で、今年のクリスマス例会の景品には赤城山の別荘地が出されたとのこと。新会員がクラブの魅力をロコミで広げてくれており、周りからは、そのうち入会者は退会して会員が減少するだろうという冷ややかな目に反し、その後も会員は増加し続けているとのこと。

② 13 頁「友愛の広場」の冒頭で「グローバリズムとロータリー」という投稿がでています。RI は会員増強を目的に規制緩和で会員の多様性を受け入れました。グローバリズムに舵を切ったといえます。しかし、今回の決定はロータリーの精神に反するという意見が強いのです。イギリスの EU 脱退、アメリカのトランプの登場と同様に RI でも揺り戻し現象が起きる可能性があります。会員はロータリー・リテラシー（知識を有し、それを活用する能力）を向上させ、自らの意見を形成する必要があるといっています。

③ 18 頁に「奉仕とサービス」という投稿があります。投稿者は当地区や第 5 グループの会合で職業奉仕についてマニャックな意見を展開している人です。ここでもその持論を投稿しています。私には理解しがたいことが記載されておりますが、皆さんも地区等の会合に

出たら、彼の意見を聞かされることもありますので「職業奉仕」「クラブ名」「姓」程度はインプットしておいて、彼が意見を述べたら無視していただければと思います。

④ 23 頁柳壇に恒例の吉原会員の川柳がでています。これも難解で解説してもらわないと分かりませんので、吉原会員、よろしくおねがいします。

ロータリーらしい装いクールビズ

* クールビズを更衣に変えて読んでみてください。理解し易いと思います。(吉原記)

■沈さん、近況報告

沈 佳穎



8 月上旬に上海に一度帰省しました。暑くてしょうがなかったです。毎日 40 度近くあり、上海にいる皆は基本昼間は外に出ず、夜になったら出歩く感じです。東京に戻ると涼しく感じました。最近東京はずっと雨が止まないって友達にグチられるんですが、それはずっと 40 度よりはましでしょう？って返します。素直な感想でした。

■5 分間情報

兵藤 哲夫

加計学園問題が大きく報道し始めた頃、テレビ局 2 社の取材に応じました。取材の主な目的は町の獣医として加計問題をどう考えるかということです。

カメラ照明係音声等が来ました。動物病院内の待合室、入院中のペットの様子など撮り終わって、主題の加計問題について一言、ということです。獣医師の数は足りているのかいないのか、という質問です。私はすかさず、全体としては足りていると思います。ただ地域、職域の偏在は見られます。

これは獣医師の数ではなく職場環境整備の



問題です。これは医師や歯科医師、弁護士の数をみても、増やせば良いかと云うとそうではありません。過当な競争をさせれば質の低下をきたし、結果、ごまかし、不正、悪徳がはびこり、動物にとっても診療する医者にとっても不幸なことになりかねません。

現実、弁護士の数が増え過ぎていると聞いています。歯科診療施設はコンビニ店より多いと聞いています。その結果国家試験の合格者をコントロールしてこれ以上増やさない方法をとっているとも聞いています。こんな前例があるのに慎重な論議をしないまま、ただただ国家戦略特区というだけで学部を増やすのはいかがなものかと思えます。特区自体に反対しているものではありません。あわてくさって事を運び、国民の疑念のまま、お友だちのところに決めることはいかがなものでしょうか、ということです。私は自民党をずっと応援してきました。それだけに恥ずかしい思いをしています。私たちは抵抗勢力でもありませんし、獣医師会は善良で小さな団体です。

ペットの病院は自由競争でもとより利権など全くありませんし、公的な保険などありません。そんな中で利権など生じないのです。

現在、ペット病院は都市部ではもはや過密状態で右肩上がりの収益の時代は終わり、下降をたどっています。そのため将来に不安を感じる獣医師の新卒者のペット病院への就職にブレーキがかかってきています。だから産業動物畑に行くとは限りません。

産業動物（家畜）の職場をなぜ選ばないか？私の意見です。

偏差値が高くなり獣医学校に入るには困難な時代になっています。子どもの頃よりペット病院は親に連れてこられ理解できる職業ではありますが、牛、豚、鶏は地方や地域に限られ、見たり、触ったり、彼らの臭いすら嗅いだことがない。反面農業学校からの出身者はどうしても学力に差があり、入試を突破できないのです。都市部で小学校の時から目的をもって塾通いする子どもが入試に受かるのです。この子どもたちが学校を卒業して家畜の方面に行くのは抵抗があるのでしょうか。

もう一つは職場自体が地方であり、汚い、くさい、咬む、蹴るなど3K仕事にもなれていないのです。私は家畜の臭いが嫌いではありません。家畜を理解しているからだと思えます。牛、豚、鶏、彼らの尊厳を認めいつも感謝しているからです。獣医師の使命としてむしろ国民の蛋白源を護る多大な使命を担っているのです。

獣医学生の半分は女性です。女性獣医師が産業動物分野に進出するには家畜看護師の要請が急務です。医者には看護師、レントゲン技師、理化学療法士、その他多くの助手が周りにいます。いずれも制度化されています。歯科も歯科衛生士がいて、歯科医師を盛りたてています。獣医師にはライセンスをもった看護師はいません。産業動物の職場に獣医師をいかせるには、待遇改善しかり、それより手となり、足となり一緒に働いてくれる有能な看護師が必要です。全国に16ある獣医学部の新設家畜看護師学科の卒業生に国家資格を与えて下さい。より質の高い仕事になるでしょう。

軍馬を飼っていた時代、獣医手という資格をもった職種がありました。地域偏在を治す意味でも、この家畜看護師の創設を強く希望するところです。これには10年かかると思えます。家畜の福祉を守り質の高い獣医業があつてこそ、国民に寄与し、家畜の為、家畜業の為になるのではないのでしょうか。

■ニコニコBOX（会員敬称略）

千葉 和裕様（元会員）／ベイスターズの3連発勝利に感激して。

滝澤 亮／本日は終戦記念卓話です。二宮登会員よろしくお願ひします。

田川 富男／①皆出席を頂きまして、ありがとうございます。②二宮さん、卓話宜しくお願ひ致します。

宋 謹衣／今日、珍しく早く会場に到着し皆さんと話す事ができてとても嬉しいです。二宮さん、本日の卓話を楽しみにしています。

二宮 登／日本の国連加盟とマニラの大聖堂について話をします。

兵藤 哲夫／①二宮登さん、タンザニア大使と共にブルーベリー狩りに招待していただき有難うございました。②妻に誕生日のお花届きました。有難うございました。

関口 友宏／①9回裏、3連発でサヨナラ勝ちなんて観たことはありません。昨夜のベイスターズには興奮しました。②皆出席賞を頂き有難うございます。

佐藤 真吾／二宮さん、卓話よろしくお願ひします。

太田 幸治／二宮登さんの卓話楽しみにしております。終戦元年も同じ歳で迎えていますのでなおさらです。

倉本 宏昭／①米山奨学生の沈さん、ようこそ。鈴木さん、今回は残念だけどきっと又機会はあるからあきらめないで！②二宮会員の卓話よろしくお願ひします。

佐藤 利明／二宮登さんの卓話よろしく。毎日甲子園での高校野球の熱戦を楽しんでおります。

市川 慎二／二宮登さんの卓話楽しみです。

岡田 清七／二宮会員の卓話楽しみにします。

後藤 英則／二宮登会員、本日の卓話楽し味です。先日のブルーベリー摘みではお世話になりました。

大川 伸一／①夏季休暇が終わったら暑くなってしまいました。思いもよらない一年皆出席をいただきまして、有難うございました。②二宮登さん、本日の卓話を楽しみにしております。

吉原 則光／処暑なのに猛暑日、横浜 34 度の予報。卓話で熱中症を吹き飛ばそう。二宮さん、よろしくお願ひします。

安藤 公一／二宮さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

■卓話「日本の国連加盟とマニラ大聖堂」

二宮 登



毎年迎える 8 月 15 日の終戦記念日が近づく
と平和の大切さと、戦後 72 年間日本は戦争の
無い平和な社会で生活を続けられる環境にあ
らためて感謝している。

○平和への思い

私は先の悲惨な大戦を小学生の時期に体験し、戦後の厳しい生活の中で学業と生きるために農業を手伝う二足のわらじを無我夢中で続けてきた。長年、平和な社会で暮らしていると平和が当たり前と思うようになってしまった。

世界に目を向けてみると、様々な要因が絡み合って悲惨な紛争が起り、未来のある子ども達や弱者が犠牲者となっている事、今世界が注目している隣国の動向等について国際社会が連携して平和的に解決することを願っている。

○国連加盟運動のスタート

日本は太平洋戦争で東南アジアに対して戦争で災禍を与えてしまった。元外交官で当時の神奈川県知事だった内山岩田郎氏は 1952 年国連加盟促進国民使節として国連本部を訪ね、支持を訴える中で、先の太平洋戦争で多大な災禍をもたらしたフィリピンが国民の反日感情から日本の国連加盟に反対の急先鋒であることを知った。内山知事は 1954 年東南アジア善隣関係樹立国民運動の一弾として、クリスチャンが大多数を占めるフィリピン人の心のシンボルであるマニラ大聖堂を戦争で破壊されてしまい、これを日本人の手で再建する

事を提唱、神奈川県では多くの県人が寄付金集めを展開し、これを基にセメント6万袋を確保、1956年6月横浜港から三井ラインの協栄丸と榛名山丸でマニラに輸送しました。こうした活動により当初日本の国連加盟に反対だったフィリピンの賛同を得られ、日本は無事1956年12月国際連合に加盟できました。当時、私の母、晴江も出港祝賀式に出席したことを今でも鮮明に覚えている。



内山岩田郎氏の碑

○マニラ友好訪問団派遣

今年、日本とフィリピンとの間で1956年7月23日、日比平和条約及び日比賠償協定が発効し国交が正常化して60周年、横浜マニラ友好委員会を設立して50周年。マニラ大聖堂再建60周年の節目を迎え、記念事業として神奈川県議会を代表して杉山のぶお氏、横浜市議会を代表として横山正人氏、横浜マニラ友好委員会のメンバー30名程が、マニラ市、ダバオ市を3/25～3/30の日程で派遣されました。

・マニラ市での行事

エストラーダマニラ市長表敬訪問

ホセリサル公園での献花

式典とマラカニャン宮殿で官房長官と未来の友好交流について話し合った。

・日比合同世界平和ミサ

ミサは午前10時に行われ、日本大使館、マニラの要人、市民マリヤノポンセー一族の代表者等で1000人を上回る参列者でした。

・ダバオ市訪問

現在のドゥテルテ大統領が20年あまり市長をつとめていたダバオ市を訪問。市の幹部と経済交流について話し合った。

今回の訪問は次の半世紀に向けたスタートだったと思います。

* 横浜マニラ友好委員会について

フィリピンとの草の根レベルの交流を続ける「横浜マニラ友好委員会」は昨年設立から50周年の節目を迎えました。戦前、同国の独立運動の英雄たちが横浜で亡命生活を送ったことを背景に、独自の民間外交を展開してきました。今、次の半世紀に向け道を歩み始めています。

横浜市は1965年フィリピンの首都マニラと姉妹都市関係を結びました。翌年横浜マニラ友好委員会が設立され、その中心人物は横浜生まれの歌手、渡辺はま子さんです。(1910～99年) 渡辺さんは戦後フィリピンの刑務所に収容された日本人戦犯の恩赦に尽力したことでも知られています。

二宮登友好委員長は、渡辺さんに誘われ設立時の発起人に加わりました。フィリピンの英雄たちと横浜の関係を知れば知るほど、活動にのめり込んでいった。この半世紀でフィリピンを約30回訪問。現地に学校を建てたり、横浜市内で写真展を開いたりといった活動を続けてきました。

* スペインの植民地だったフィリピンは19世紀末独立の気運が高まり、英雄の一人、アルテミオ・リカルテ将軍(1866～1945年)は独立運動に身を投じ、日米戦争に突入した後は米国への服従を迫られたが拒否し、香港に追放されました。そして日本に亡命し、落ち着いたのが山下公園近くの中街でした。亡命生活は20年間にも及び、太平洋戦争が始まると、帰国し、終戦直前の45年7月に病気で生涯を終えます。71年、リカルテ将軍をしのぶ記念碑は、亡命中家族を連れて山下公園を頻繁に訪れ、海の方の祖国に思いをはせていた横浜港を見つめる公園内に設置されました。碑には「真の愛国者」と刻まれています。当時山下公園の設置を強く求めたとされる元首相の岸信介氏による碑文です。

(2017年4月16日読売新聞より)

■次週の卓話

9/6(水)

社会奉仕フォーラム

週報担当 吉原 則光